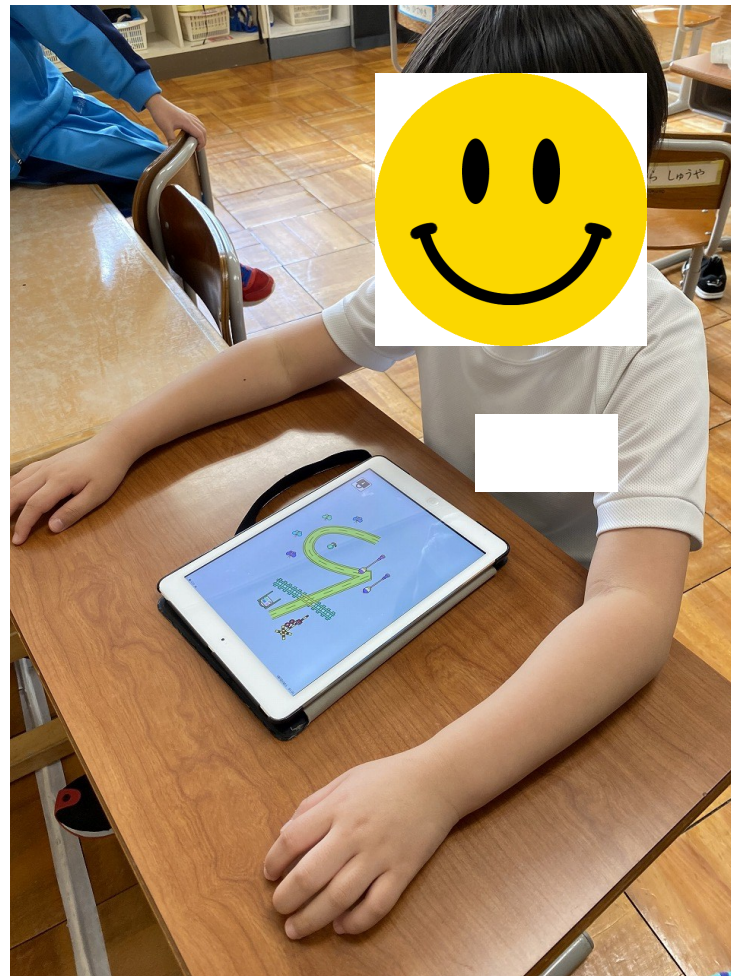




iPadアプリ「電車でひらがな」で平仮名の読みを学習。電車の名前や電車関連の言葉で50音を一文字ずつ確認することができる。クイズ形式で出題されるほか、新幹線だけでなく特急列車等も出てくる。電車好きな本児童にとっては、意欲や関心が高まるとともに、学習に集中して取り組める要因となった。



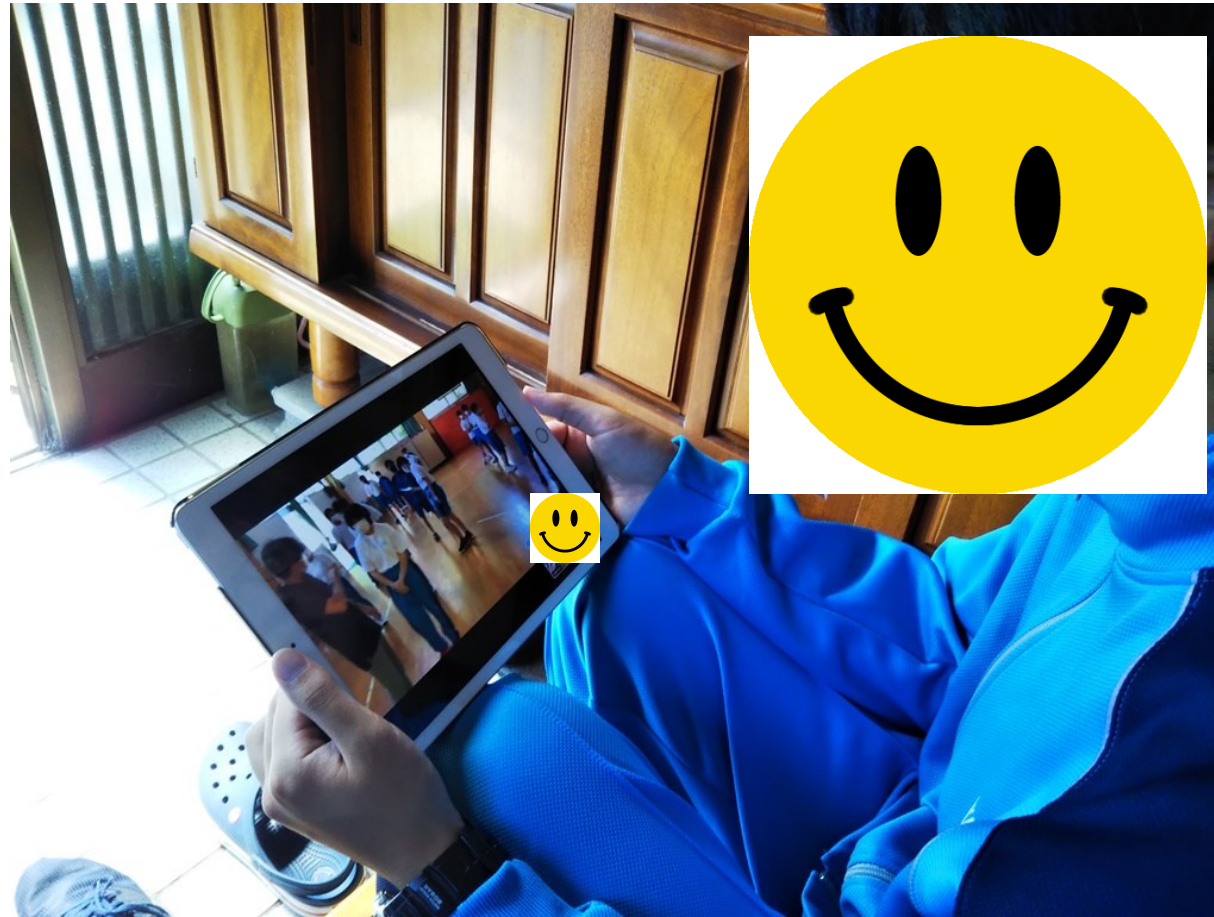
「もじルート」を使用したタブレット学習。なぞり始めの位置だけタップする段階から道をはみ出すと失敗になる段階まで、なぞり書きの難易度が設定できる。字をなぞりながら児童の興味・関心ある車を走らせるので楽しみながら取り組んだ。



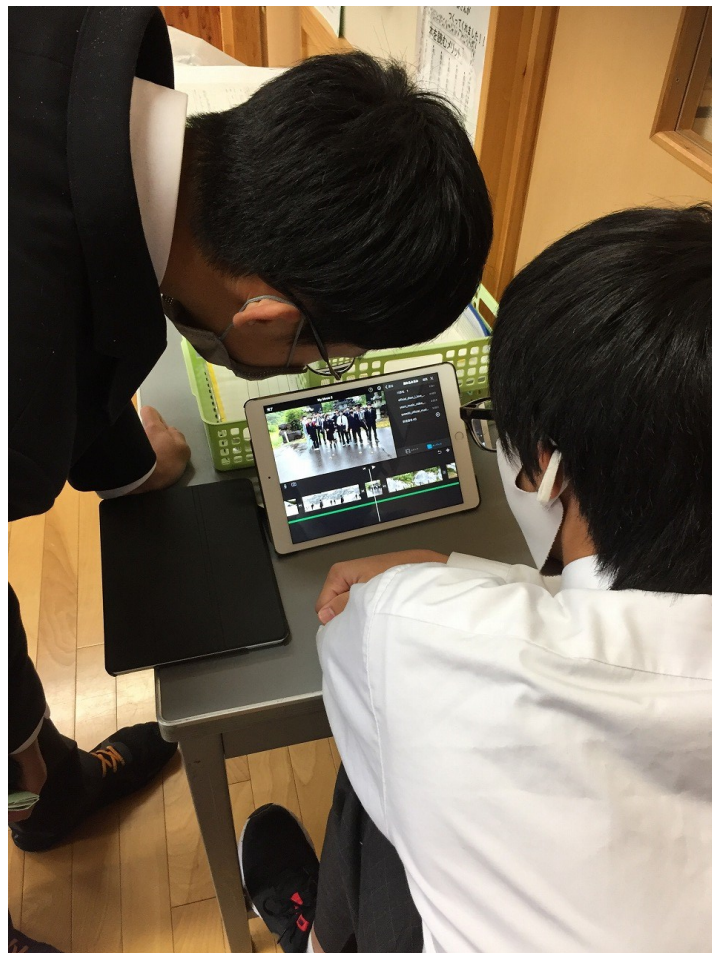
「電子黒板」を使用した学校祭のステージ発表。児童が電子黒板に板書した文字を手掛かりに、ステージ上の児童が同じ文字のカードを選び、ふだんの学習の成果（平仮名のマッチング）を披露した。大きく書字でき、繰り返し練習できることもあり、意欲的に取り組み、ステージを盛り上げた。



「Apple TV」を使用した高等部校内実習のリモート見学。3密を避けながら、進路学習を実施した。高等部生徒の様子を大型テレビを通して参観したり、高等部の職員から校内実習の内容について話を聞いたりした。中学部生徒は画面を注視し、高等部生徒は作業に集中することができた。



「Zoom Meeting」を使用し、学校に行く気持ちを醸成。登校する意欲を高めるため、友達の頑張りをZoom Meetingでリモート中継した。登校する意欲が高まり、以前よりも登校日数が増えるようになった。



「iMovie」を活用し、高等部生徒が地域資源を紹介する動画を制作。自分たちで動画を見直したり、使用する楽曲を選定したりした。また、生徒同士で改善案を出し合う様子が見られ、生徒は主体的・対話的に活動した。制作した動画を学校祭で紹介し、生徒が達成感を感じる学習となった。